



Moody's Japan K.K.

# NEWS

Contact:

東京  
岡本 賢治  
VP シニア・アナリスト  
コーポレート・ファイナンス・グループ  
ムーディーズ・ジャパン株式会社  
お問い合わせ電話番号：03-5408-4100  
報道関係者専用番号：03-5408-4110

東京  
久保田 穰  
マネージング・ディレクター  
格付けグループ  
ムーディーズ・ジャパン株式会社  
お問い合わせ電話番号：03-5408-4100  
報道関係者専用番号：03-5408-4110

ムーディーズ、鉄道建設・運輸施設整備支援機構の国内普通債券に Aa2 の格付けを付与

## 発行総額 400 億円の新規発行債券を対象として

2010年（平成22年）2月4日、東京、ムーディーズ・インベスターズ・サービスは、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（鉄道・運輸機構）が発行する、発行総額200億円、2015年償還の第29回鉄道・運輸機構債および発行総額200億円、2019年償還の第30回鉄道・運輸機構債に、Aa2の格付けを付与した。これらの債券に政府保証は付されていない。格付けの見通しは安定的である。

Aa2の格付けには、政府が法律上および規制上の枠組みを適切に維持することで、鉄道・運輸機構の業務およびファイナンスのリスクが低く抑えられると予想されることなど、同機構の固有の信用力の強さ、および必要があれば提供されると見込まれる日本政府の信用サポートなどが考慮されている。

鉄道・運輸機構の業務は、鉄道施設の建設、完成後の鉄道会社への貸付けまたは譲渡、船舶の共有建造、船舶技術の研究開発の支援、旧国鉄資産の処分等、多岐に亘るが、その中でも投資額の最も大きいのは新幹線鉄道路線の建設である。整備新幹線は政府の方針として整備計画が定められており、鉄道・運輸機構は法律の規定により一元的にその建設を手掛けることで、政府の鉄道運輸政策において中心的な役割を担っている。

鉄道・運輸機構に関する前回の格付けアクションは、2009年7月22日で、その際には日本の13の政府系発行体の格付けをAaaからAa2に引き下げた。

同機構の格付けに利用された主な格付け手法は、2005年4月発行の“ The Application of Joint Default Analysis to Government Related Issuers ” であり、www.moody.com のResearch & Ratingsディレクトリ、Rating Methodologiesサブディレクトリで閲覧することができる。（なお、当該格付け手法の日本語版「政府系発行体への複合デフォルト分析の適用」（2005年5月）は、www.moody.co.jp の「格付け手法」、「事業会社、金融機関、保険等」で閲覧することができる。）また、格付けの過程で考慮された他の格付け手法及び要因もRating Methodologiesサブディレクトリで閲覧することができる。

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構は、2003年10月に設立された独立行政法人である。

以上